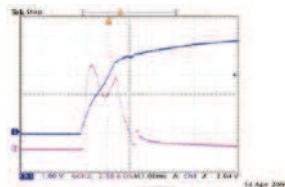
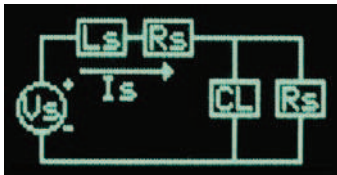




■ 特長

- 1 フレームで最大 10ch の電子負荷システム構築
- 低電圧動作：80A@0.4V (バイアス電源無し)
- CC, CV, CR, CP モードに加え、新機能 CZ モード
- 高速 100 ステップシーケンスプログラム機能  
100us 分解能、100us ~ 30s
- 完全な 10ch 同期動作 & マスター/スレーブ機能  
(最大 2kW まで拡張可能)
- 500kHz、16bits A/D コンバータ内蔵で、Vpeak+/- の自動測定が可能
- 外部アナログコントロール & V, I モニター出力機能
- USB 標準装備、GPIB、Ethernet オプション



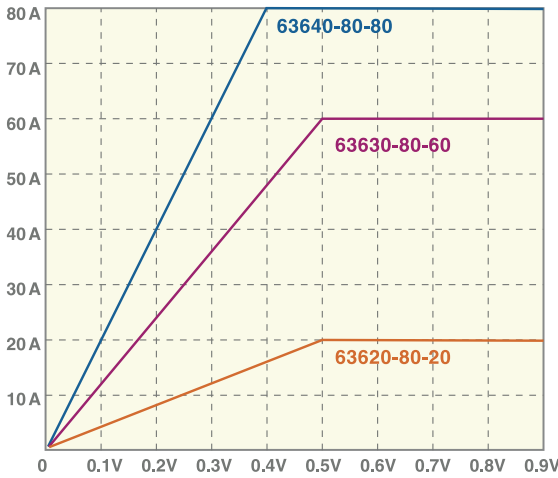
CZ モード時のフロントパネル表示

新機能：CZ モード

CZ モードは、容量成分を持った負荷を起動させる時に発生する突入電流を模擬する機能です。  
負荷を C と R の並列回路に見立て、C と R の値を設定しロード ON にすると、突入電流を発生させます。  
突入電流に起因する、ブレーカが落ちる、ヒューズが切れるなどの不具合が電源側に発生しないかを、事前に検証することができます。

低電圧動作機能

63600 シリーズは、低電圧でも大電流を引く事が可能です。一般的な電子負荷では、1.5V 以上の電位差が無いと、電流を引く事ができませんが、例えば 63640-80-80 型は、0.4V で最大 80A まで電流を引く事が可能です。  
また、左の図のように、0.4V 以下でも電流を引く事が可能で、燃料電池の評価にも最適です。  
0V 電子負荷のように、電子負荷内部にバイアス電源を搭載してませんので、燃料電池のみの特性試験が可能です。



電子負荷

63600 シリーズ メインフレーム			
型番	63600-01	63600-02	63600-05
スロット数	1	2	5
寸法	W:72 × D:555 × H:177 mm (4U)	W:210 × D:555 × H:177 mm (4U)	W:447 × D:555 × H:177 mm (4U)
重量	7.5 kg	11.5 kg	15.6 kg
動作温度範囲	0 ~ 40°C	0 ~ 40°C	0 ~ 40°C
設置温度範囲	-20 ~ 80°C	-20 ~ 80°C	-20 ~ 80°C

63600 シリーズ オプション	
型番	内容
A636000	63600-02、-05 用 GPIB インターフェース
A636001	63600-02、-05 用 Ethernet インターフェース
A636007	63600-02 用ラックマウントキット

63300 シリーズ 電子負荷モジュール								
型番	容器	CH 数	最低動作電圧	電圧範囲	電流範囲	電力範囲	抵抗範囲	重量
63610-80-20	100W	2ch	0.5V@20A	0-80V	0-20A	0-100W	0.04-12kΩ	5kg
63630-80-60	300W	1ch	0.5V@60A	0-80V	0-60A	0-300W	0.015-3kΩ	4kg
63630-600-15	300W	1ch	2V@15A	0-600V	0-15A	0-300W	0.133-200kΩ	5kg
63640-80-80	400W	1ch	0.4V@80A	0-80V	0-80A	0-400W	0.01-2.9kΩ	4.5kg

63600 シリーズ 一般仕様	
動作温度範囲	0 ~ 40°C
保存温度範囲	-20 ~ 85°C